

2022年度食育活動の取り組み 「バケツでお米プロジェクト」



ちゃいれく初石保育園

活動のねらいについて

私たちが毎日食べているおいしいごはん。お米がどんなふうに育ち、どんな過程を経てみんなの口にはいるんだろう？意外と知らないお米のこと・・・。買ってしまえば真っ白いお米が手に入りますが、芽出しから精米までみんなの手でやることで、お米に対する感謝の気持ちや、自然や穀物に対する興味や好奇心がより大きくなってくれるといいなと願い、「バケツでお米プロジェクト」を始めました。昨年から始めたSDGsの取り組みである「食べ物に感謝する」「食品ロスをなくす」にもつながります。そして子供たちが今まで以上に心をこめて「いただきます」「ごちそうさまでした」と言ってくれたらうれしいです。



子どもたちの様子

泥作りと芽出しから始まった「バケツでお米プロジェクト」。最初はこんな小さな粒からお米ができるの？と半信半疑だった子どもたちも、手をドロドロにしながら植えたり、水やりも欠かさず行い、だんだんと稻が大きくなるにつれて愛着が出てきたようでした。台風の予報が出た時は、みんなで風の当たらないところへ移動させました。無事に収穫をむかえ、脱穀ともみすりに苦戦しながらも、ピッカピ力のお米が炊けた時の歓声と嬉しそうな笑顔はブライスレス！！！みんなで食べたおにぎり、最高においしかったね！！！



ばら組さんの背丈と同じくらい大きくなりました！



脱穀中・・・



もみすりって大変！



おにぎりにしてみんなでおいしくいただきました

収穫したお米は全部で4合半になりました！



うわ～！！
おいしそう！

ピッカピカ！！！



米ぬかと重曹を
まぜまぜ・・・



米ぬかがとれたので
米ぬかせっけんを作ってみました

活動成果・次年度へ向けて

バケツに自分の名前が書いてあるので、園庭へ出る度に「大きくなかったかな？」と自分のバケツを覗き込む姿がとても印象的でした。自分たちの口に入るまでに様々な人の手がかかっていることがわかり、いつも食事を作ってくれる家族や給食さんへの「ありがとう」の気持ちが大きくなったと思います。今後は干した藁でお正月飾りを作る予定です。自然の恵みに感謝しながら来年度もSDGsの取り組みに力を入れていきたいと思います。